



2022年8月10日

各 位

会社名 株式会社シノケングループ  
代表者名 代表取締役社長 篠原 英明  
(コード番号：8909 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役 常務執行役員 玉置 貴史  
(TEL 092-714-0040)

## 「シノケンリート投資法人」の投資口に関する 東京証券取引所上場に向けた取り組みについて

2022年2月17日付「「シノケンリート投資法人」の投資口の東京証券取引所上場延期のお知らせ」で公表した内容につきまして、現状をお知らせいたします。

### 記

当社の2022年2月2日付「「シノケンリート投資法人」の投資口の東京証券取引所不動産投資信託証券市場への上場承認のお知らせ」に記載のとおり、シノケンリート投資法人（以下「シノケンリート」といいます。）は、株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）より、シノケンリートの投資口の東京証券取引所不動産投資信託証券市場への上場についての承認を得たものの、上場を延期いたしました。

具体的には、当社の2022年2月17日付「「シノケンリート投資法人」の投資口の東京証券取引所上場延期のお知らせ」に記載のとおり、2022年2月17日開催のシノケンリート役員会において、新投資口発行及び投資口売出しを中止すること並びに東京証券取引所不動産投資信託証券市場への上場を延期することを決議し、これに伴い、東京証券取引所不動産投資信託証券市場への上場承認も取り消されました（以下「シノケンリート上場延期」といいます。）。

また、当該上場に際して実施するシノケンリートの新投資口の発行（発行数 123,476 口、発行価額の総額 12,347,600,000 円、発行価格未定）及びオーバーアロットメントによる売出し（売出数 6,174 口、売出価額の総額 671,400,000 円、売出価格未定）に関してシノケンリートが2022年2月2日付で関東財務局長に提出した有価証券届出書も、同月17日付で取り下げられました。

これらは、シノケンリート上場延期について公表した2022年2月17日時点において、米国長期金利上昇に対応する早期金融引き締めへの警戒感が強まる中、ウクライナ情勢の緊迫化による地政学リスクなどに起因して不確実性が急速に高まりつつあり、そのような非常事態といえる市場環境においては、シノケンリートの投資口の上場に伴う新投資口の発行による資金調達が必ずしも満足のいくレベルでは実現できない懸念が生じていることに鑑み、市場動向を慎重に見極め、適切なタイミングでの上場を目指すことの方が、シノケンリートの投資価値、ひいては投資家の皆様の利益に資することになるとの判断が、シノケンリート側でなされたことによるものです。

その後、シノケンリートにおいては、証券会社を通じた投資家需要動向の確認や、上場申請に向けたエクイティストーリーの再検討等、上場に向けた準備を継続して行っておりますが、新型コロナウイルスの感染再拡大、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、米国長期金利の上昇、円安の急激な進行等、経済環境の不確実性は増す一方であり、シノケンリート上場延期の発表から約6ヶ月が経過したものの、環境が良化したとは言い難く、現時点では2022年中の上場を目指すことは適切ではないとの判断に至ったものと確認しております。

もともと、当社及びシノケンリートとしては、引き続きシノケンリートの適切なタイミングでの上場を目指す方針には変わりなく、2023年以降、市場環境を見極めつつ、適切なタイミングで、改めてシノケンリートの投資口を東京証券取引所不動産投資信託証券市場へ上場させたい意向を有しております（以下、かかる投資口の上場を「シノケンリート上場」といいます。）（注）。

（注）本日時点において、上場時期を含め、シノケンリート上場について決定した事実はなく、将来にわたってシノケンリート上場が実施されない可能性があります。また、実施される場合でも、シノケンリート上場又はそれに関連して実施される取引（シノケンリートによる当社グループからの不動産の取得を含みます。）について、シノケンリート上場延期前に想定されていた条件と大きく異なる条件により実施される可能性があります。なお、本書は、シノケンリートの投資口の取得の申込みの勧誘又は売付けの申込み若しくはその買付けの申込みの勧誘を行うものではありません。

本日時点における、シノケンリートの概要、出資総額は、以下のとおりです。

<シノケンリートの概要・出資総額>

名称	シノケンリート投資法人
所在地	東京都港区浜松町二丁目3番1号
代表者の役職・氏名	執行役員 芝田 優巳
設立	2020年5月15日
登録	2020年6月16日（登録番号 関東財務局長 第150号）
出資総額	2,381百万円
発行可能投資口総口数	10,000,000口
発行済投資口総口数	24,000口

なお、当社は、シノケンリートの複数の既存投資主との間で、シノケンリートの東京証券取引所不動産信託証券市場への上場を停止条件として、シノケンリートの投資口合計4,000口を400,000,000円で取得する投資口譲渡契約を締結しており、当該契約や引受人からの売り先指定の販売等を通じて、シノケンリートが上場される場合には、一定数の投資口を保有することを想定しております。

また、当社の子会社である株式会社シノケンプロデュースは、その所有する資産の一部（帳簿価額の総額は約73億円）についてシノケンリートと売買契約を締結しており、シノケンリートの上場に際し、シノケンリートへの売却を予定しております。当該資産の売却予定金額総額は約83億円です。これらの売却予定資産の内容とその金額は現時点における想定であり、今後の市況環境やビジネスの動向を踏まえ、変更される可能性があります。

以 上